

2025 年 7 月 2 日

皮膚科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「皮膚有棘細胞癌症例における 3 次リンパ様構造 (TLS; tertiary lymphoid structure) に関する既存病理検体・情報を用いる研究」への協力をお願い

皮膚科・腫瘍病理学講座では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2013 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日の間に、当科において、皮膚有棘細胞癌の切除手術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2029 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

3 次リンパ様構造 (TLS; tertiary lymphoid structure) は抗腫瘍免疫を促進し、様々ながんにおいて予後良好因子であると報告されてきました。しかし、皮膚有棘細胞癌における TLS の役割や臨床的意義について十分に解明されていません。本研究では、当院で切除された初発の皮膚有棘細胞癌を対象として、TLS の有無と特徴を組織形態学および免疫組織化学によって評価することを目的としています。また、TLS の有無・特徴と臨床病理学的特徴や免疫応答に関わる病理所見との関連を検討し、皮膚有棘細胞癌における TLS の役割や臨床的意義を明らかにします。

研究に用いる試料・情報の項目：

【臨床データ】

以下の項目について診療録より取得します。これらは全て日常診療で実施された項目です。
年齢、性別、病変部位、病変の深達度、リンパ節転移、無再発生存期間、再発の有無、全生存期間

【標本作成・評価】

病院に保管されている手術検体から hematoxylin-eosin 染色標本や免疫染色標本を作製します。以下の項目について病理医が評価します。

組織型（高分化、中分化、低分化）、腫瘍径・tumor thickness の測定、皮下脂肪組織浸潤・脈管侵襲・神経周囲侵襲の有無、背景の前癌病変、TLS の有無・密度・成熟度・分布、腫瘍組織内の PD-L1 発現、腫瘍組織内の CD8 陽性 T 細胞の浸潤

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2025 年 7 月 4 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医科学専攻・医学部医学科生命関係学 腫瘍病理学

氏名：原 明

連絡先

岐阜大学大学院医科学専攻・医学部医学科生命関係学 腫瘍病理学

電話番号：058-230-6225

氏名：金山 知弘

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp